

公認会計士「研修出向制度」 体験者リポート

vol. 19

取材・文／南山武志 撮影／大平晋也

新日本有限責任監査法人が2010年にスタートさせた、一般事業会社への会計士「研修出向制度」。本制度を活用し、自己成長に励む公認会計士たちのリアル・リポートをお届けする。



日本トライステイ・サービス
信託銀行株式会社



新日本有限責任監査法人

上司の勧めで出向を決意

—大学在学中に、公認会計士試験に

合格されたのですね。

商学部でしたので、周囲には同じよう

に会計士を目指す同級生が多くて、

切磋琢磨することができます。

監査法人では、どのような企業を

担当されたのでしょうか？

入った当時は製造業が多かった

のですが、徐々にクレジットカード会

社や信託銀行などを担当するようにな

りました。金融機関の業務は、非常に

専門性が高く、監査を行ううえで、金

融ならではの商品知識、業務慣行や規

制動向などに対する理解が不可欠にな

ります。難しさもやりがいも感じなが

ら仕事をしました。

—この制度に手を挙げた理由を教えてください。

徳山 実は上司から勧められるまで、出向制度の詳細を知らなかつたんです。

「通常は企業の経理業務を任されるのだが、今回は、金融機関の会計・税務や業界全体の制度改革にかかる対応部署が出向先になる。今までにない事例で、必ず勉強になるはずだから、行ってみてはどうか」というお話をでした。

3年間というのは決して短くありませんから少し悩みましたが、金融機関の会計・税務のみならず種々の国内外の

規制に対する取り組み方を学べたら、今後のキャリアアップにつながると判断し、お受けすることにしました。

—実際に事業会社に出向して、その判断はどうでしたか？

徳山 例えば、クライアントの立場で監査法人や税理士に質問すると、こちらが理解しやすく明快な回答をいただけます。会計基準や税法の条文だけを説明されるようなこともありますね。サービスを提供する側と

規制に対する取り組み方を学べたら、今後のキャリアアップにつながると判断し、お受けすることにしました。

—実際に事業会社に出向して、その判断はどうでしたか？

徳山 例え、クライアントの立場で監査法人や税理士に質問すると、こちらが理解しやすく明快な回答をいただけます。会計基準や税法の条文だけを説明されるようなこともありますね。サービスを提供する側と

出向受け入れ企業の声

いい意味で“想定外”的採用だった。
残りの期間、幅広い経験を積んでほしい



日本トライステイ・サービス信託銀行株式会社
執行役員 事務企画部長

田辺正人

当社の業務において非常に頭を悩ますのが、国ごとに違う税制だ。様々な国で発行、運用される有価証券が当社のファンドに入ってくるため、迅速かつ適切にそれに対応していく必要があり難易度も高い。ぜひとも社内に税や会計に関する高いスキルを持った人材が欲しい、というのが出向をお願いした目的だった。

徳山君に関しては、会計士というイメージとはかけ離れたパーソナリティの持ち主で、周囲ともすぐに溶け込んでくれた。ならば、会計・税務だけでなくデリバティブの国際規制など任せたところ、非常に力を發揮してくれ、助かっている。会計・税務の解釈などについて、よく彼には「会計士としてどう思うか」という問い合わせをしている。会計・税務は無論のこと客観性や合理性を学んできた人間の意見は、最終的な判断の力強いサポートになっている。そういう意味でも、この制度を使ったのは成功だったと思う。

Yuki Tokuyama

Profile

1986年6月23日 東京都台東区生まれ
2007年11月 公認会計士試験合格
TAC株式会社入社
2009年3月 早稲田大学
2009年10月 商学部卒業
新日本有限責任
監査法人入所
2011年11月 公認会計士登録
2013年7月 日本トライステイ・サービス
信託銀行株式会社へ出向
家族構成＝妻、息子1人



規制に対する取り組み方を学べたら、今後のキャリアアップにつながると判断し、お受けすることにしました。

—実際に事業会社に出向して、その判断はどうでしたか？

徳山 例え、クライアントの立場で監査法人や税理士に質問すると、こちらが理解しやすく明快な回答をいただけます。会計基準や税法の条文だけを説明されるようなこともありますね。サービスを提供する側と

規制に対する取り組み方を学べたら、今後のキャリアアップにつながると判断し、お受けすることにしました。

—実際に事業会社に出向して、その判断はどうでしたか？

徳山 例え、クライアントの立場で監査法人や税理士に質問すると、こちらが理解しやすく明快な回答をいただけます。会計基準や